



医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信第101号



第102回ワーキンググループ会議 (R4.6.23)

「コロナ禍での在宅療養、看取り支援の実際 ～薬剤師の立場から～」

●話題提供者

一般社団法人滋賀県薬剤師会 常務理事/オリーブ薬局
管理薬剤師 大西 延明 さん

コロナ禍での取り組み

- ・ワクチン接種
- ・自宅・宿泊療養者への対応
- ・学校の感染対策に対する助言等

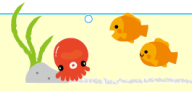
コロナ禍で受けた影響

- ・技術料収入の減少
- ・在宅訪問の増加
(ターミナル期の患者が退院して在宅になるケースの増加)等



看取り期への関わり

- ・終末期の在宅業務の目的は治療ではなく、**患者の希望する最期の迎え方の実現をサポート**すること
- ・患者や施設のニーズが多様化し、よりきめ細やかな対応が求められるようになってきた
- ・患者・家族との向き合い方、訪問できる機会に限られた中で**多職種間で信頼関係を深めたり、情報連携を構築**するなど、地域の状況に応じて様々な工夫や努力が必要
- ・地域の薬局間の**連携強化**



課題は多岐にわたるが、今後、解決に向けて様々な場面で検討が進められることが望まれる

参加者の声

- ・「苦痛なく」という患者の希望に関しては薬剤師の腕の見せどころ。麻薬の使用は扱いが難しく、法律の縛りなどもあるが、法律的なことも含めてみんなで解決していければ良い。
 - ・在宅患者からは、どうせ見ていただけるなら楽しくやってほしいという声もある。そういったことにも気を付けていかなければいけない。
 - ・薬剤師の役割(訪問できる等)を知らない現場の専門職(医師、ケアマネなど)や患者が多い。まずはその周知が必要ではないか。
 - ・麻薬座薬における薬剤師の訪問は在宅での QOL を高めるためには必要であり、今後は地域での薬剤師の連携を進めてほしい。
 - ・在宅協力薬局は、一つのところで24時間支えるのは大変。医者もいくつかの診療所で支え合っていく流れになってきているが、薬局もそうならないと難しい。
- 国は当たり前のように24時間対応を迫ってくるが、それにはそれ相応の負担があるということを感じてほしい。
- ・高齢独居の患者が増えている中では訪問薬剤師の役割は大きい。

<総会・研修会のお知らせ>

日時：8月27日(土)14時～17時(受付13時半～)
場所：キラリエ草津 大会議室
内容：

【基調講演】「意思決定支援を支える
～新型コロナウイルス感染症下からの学び～」

講師：葛西中央病院 院長 土谷明男氏

【シンポジウム】「コロナ禍の中での看取りを支える支援」

シンポジスト：

- ・医療法人にじいろ会 おぐまファミリークリニック 院長 小熊 哲也 氏
- ・滋賀県介護支援専門員連絡協議会 副会長 岡戸 佳恵美 氏
- ・社会福祉法人野洲慈恵会 あやめの里 施設長 松尾 道子 氏



6月のワーキンググループ会議には63名の方が参加してくださいました。その内、初参加の方は18名。初参加も含め、今回は特に薬剤師の方の参加が目立ちました。参加して下さった皆様、ありがとうございました！

大西先生

ACPはチーム医療が必要。薬剤師は専門職としての知識や技能、コミュニケーション能力、人の命に対するリスペクトなどをもっと研鑽していかないといけない。
緩和ケアに関わっていると、患者や家族には医療用麻薬に対して抵抗をもっている方が結構いると感じる。丁寧な説明をして納得するのは薬剤師がすべきことであり、今後、県内の薬局、薬剤師には期待したい。
高度な医療を患者が受けるにあたり、自局だけで対応するのは難しい。地域の薬局間で得意分野を連携し合ったり、ICTやSNSを活用して、今後在宅にかかわる人が増えれば良いと思っている。



大西延明さん

創造会議の設立当時、在宅療養に関わる医師や訪問看護はいるが、薬剤師の参加が難しいのではないかと議論があった。当時、関わっているのは3%ほどだったが今日では1/4となり、10年経って、どうしても難しいなと思っていたところが進んでいると思う。



参議院議員
(元滋賀県知事)
嘉田由紀子さん

創造会議をつくったときに、こういう仕事は10年、20年先を見通さないとけないというところだったが、シンポジウムなどで当時と比べて何がどれだけ進んでいるかということをやればとても有意義で、全国に対してもモデルになると思う。



8/1～9/30

Instagramフォトコンテスト

「じいじ ばあばといっしょの時間 +モア」

おじいちゃん、おばあちゃんを大切に想う気持ちが表れた「心あたまる写真」を大募集！
昨年大変好評をいただいたこの企画を更にパワーアップさせ、今年も開催することになりました。
入賞作品は「フォトブック」になり滋賀県内で配布予定！あなたの写真も掲載されるかも…？

インスタで「@mitori_chann」を
フォローして応募してね！



総会、フォトコンテストの詳細はHPでご確認ください

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局
(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

e-mail : info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

HP : mitori.siga.jp